

**約束処方(院内製剤)の院外処方箋化について(7月 27 日から実施)**

平素より薬剤部の運営にご理解、ご協力いただきありがとうございます。

この度、院内製剤でありましたバンコマイシン矯味液の採用削除、プリビナ点鼻および A ネブライザーの約束処方中止に伴い、今後は必要な医薬品を処方記載することとなりました。これに伴い院外処方箋が可能となりましたので下記に処方例および調剤方法を示しますので、以下の方法にて調剤交付していただきますようお願いいたします。

埼玉医科大学総合医療センター薬剤部 (調剤室 : 049-228-3543)

**【バンコマイシン内用液】**

添付文書上、*C. difficile* 毒素陽性抗菌薬関連腸炎に対して使用される経口 VCM 散の投与量は、125mg~500mg/回 1日4回であるが、耐性菌対策や医療経済の面から「0.5g/日 1日4回 分服」でも十分な効果が得られる<sup>1)</sup>ため、上記疾患に使用する場合は下記処方を推奨している。

なお、再発・重症例または MRSA 腸炎に対しては 2g/日 1日4回 分服の処方もある。

**Rp1 (0.5g/日 1日4回 分服の場合)**

バンコマイシン塩酸塩散 (0.5g)	1 瓶
【内用】蒸留水	5mL
単シロップ	35mL
1日4回 毎食後寝る前	
1回 10mL	7日分

〈方法〉	
VCM 3.5g (7瓶)	} 全量 280mL
蒸留水 35mL	
単シロップ 245mL	

**Rp2 (2g/日 1日4回 分服の場合)**

バンコマイシン塩酸塩散 (0.5g)	4 瓶
【内用】蒸留水	20mL
単シロップ	20mL
1日4回 毎食後寝る前	
1回 10mL	7日分

〈方法〉	
VCM 14g (28瓶)	} 全量 280mL
蒸留水 140mL	
単シロップ 140mL	

**【調剤方法】**

- ・ 1 バイアルを 5mL の蒸留水で溶解する。
- ・ 該当する水薬瓶に蒸留水で溶解した VCM を移し、単シロップでメスアップする。
- ・ 処方日数が 14 日分を超える場合には、15 日目以降のものは溶解せず交付する、もしくは分割調剤を検討する。

**【保管方法】 冷所保存**

注)・蒸留水、5%ブドウ糖、単シロップにおいて 14 日間安定 (インヒューフォームより)

- ・ 服用しづらい場合には、適当量 (飲み切ることができる量) を他の飲料 (牛乳やオレンジジュース等) でうすめて服用することも可能<sup>2)</sup>。

参考文献

1) Gastroenterology 1985;89:1038-45

サンフォード感染症治療ガイド 2016(第 46 版) P33 (ライフサイエンス出版)  
レジデントのための感染症診療マニュアル第 2 版 p695 (医学書院)

2) 日病薬誌 2009;45(11):1487-89



## 【プリビナ点鼻液 10mL】の院内製剤削除に伴う院外処方発行について



### 《院外処方例》

プリビナ液 0.05% (点鼻用) 10mL

- ・・・1日2回点鼻
- ・・・1回1噴霧

適応症：上気道の諸疾患の充血・うっ血

調剤方法：プリビナ液 0.05% (点鼻用) を点鼻容器に分取。

保管方法：室温保存

## 【A ネブライザー吸入液】 約束処方中止に伴う院外処方発行について

### 《院外処方例》

プリビナ液 0.05% (点鼻用) 30mL

【吸入用】 リンデロン点眼・点耳・点鼻液 0.1% 18mL

【外用】 大塚蒸留水 (500mL/瓶・細口) 72mL

- ・・・1日2～4回吸入
- ・・・1回量は医師の指示通り

適応症：咽頭炎、副鼻腔炎

調剤方法：上記薬剤を混合調製。各薬剤の保存剤による配合変化あり。高濃度下では塩化ベンザルコニウムによりパラベンが塩析されるためプリビナは最後に混合する。スポイトまたは計量カップを添付。

保管方法：遮光保存

以上